



急に猛暑になった6月後半から、戻り梅雨の7月。入校より、午前中は座学の授業でしたが、そろそろ座学も終盤です。座学では、パソコンを使った製図の方法や、製品の価格設定について、樹種や、塗装法など、多岐に渡る知識を学びます。



午後の実技は、板削りや、丸棒削り、柄組や、塗装など、4月の砲台製作後着々と進んでいます。



組子のコースターです。接着剤や、釘などの金物は使っていません。木材を組んだだけのシンプル構造、頑丈で美しいです。



塗装の実習も行っています。塗装の種類や、木地材、色の組み合わせなど無限大で、奥が深いです。



現在は、枺の製作中です。
作業も早くなってきました。



そして7月1日から7日まで、全国安全週間です。
7月1日には、救急講話が行われ、木曾消防署職員の方から心臓マッサージやAEDの使用方法、止血方法などご指導いただきました。



7月4日、KYT（危険予知トレーニング）講習の様子です。
今後、実技の作業時間が増えます。
作業時の危険を予測し、安全に作業できるように心がけていきましょう。



7月5日は、グラインダー講習。
一歩間違えれば危険な機械がたくさんあります。
立て続けに、安全に関わる授業が行われた7月初旬でした。
学んだことを意識しながら、事故なく製作に励みたいですね。